

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和6年3月15日

アンケート期間: 令和 6 年 1 月 5 日～令和 6 年 1 月 31 日

事業所名 放課後リリークラブ

保護者等数(児童数) 24

回収数 23

割合 95%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	74%	9%	0%	17%		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	57%	4%	0%	39%	職員の入れ替わりが激しい	子ども達に安心して過ごせる環境作り、職員の定着化に向け今後も取り組んで参ります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	35%	21%	9%	35%		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	96%	0%	0%	4%		
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	96%	0%	0%	4%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	26%	9%	13%	52%		・状況をみていきつつ、今後の開催を検討していきます。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	91%	4%	0%	5%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	96%	0%	0%	4%		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	83%	13%	0%	4%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4%	13%	39%	44%	あれば嬉しい	・状況をみていきつつ、今後の開催を検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	74%	4%	0%	22%		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91%	4%	0%	5%		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	70%	13%	0%	17%		
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	91%	0%	0%	9%		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	61%	4%	0%	35%		
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	65%	5%	0%	30%		・年2回様々な状況を想定した防災、避難訓練を行っています。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	78%	13%	0%	9%	・笑顔で出発して笑顔で帰ってきます。 ・楽しみな時と疲れている時の差が大きい	ありがとうございます。今後も子ども達に寄り添った支援を心がけて参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	87%	9%	0%	4%	子どもと保護者に寄り添い適切な支援をもらい、親子共々満足しています。	ありがとうございます。今後も子ども達に寄り添った支援を心がけて参ります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 放課後リリクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	活動によってテーブルや椅子の配置を変えるなどの工夫を行なっている	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	スタッフのバランスを考慮しながらの配慮を行なっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	階段が急だが、すべり止めの設置や職員が昇降時につくなどの安全対策を行なっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	サービス提供記録欄の声や送迎時の保護者様の声などを大事にしている。	・今後も年1回評価表アンケートを実施していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		・年1回ホームページにて掲載予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%		・外部評価を受け取り、業務改善に努めて参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	会議内や外部の研修を行い、資質の向上を行なっている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	定期的に聞き取りを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	施設でのアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	分担して活動内容案を作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節に合わせたものや児童、職員の意見などを取り入れている。	なるべく同じ活動にならないように日々リサーチや考案をしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	休日、祝日用の活動を実施。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	職員間で話し合ってから作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日の申し送りの時に確認を実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	・重要な事柄は当日中に共有し、全体の振り返りについては翌日に行っている。	職員間での共有は会話や日誌、LINEの機能などを活用しながら行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の記録を行ない、職員間で日々話を行なっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的にモニタリングを実施している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	50%	50%		活動の内容によって工夫し組み合わせている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	25%		・全職員からの聞き取りをもとに、より精通した人物が参画していく予定です。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	下校時間の確認、待ち合わせ場所の共有、付き添いの有無などを確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%		・医療的ケアを必要とする児童がいないため。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 10日

事業所名 放課後リリクラブ

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	25%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75%	25%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%		・コロナの為、状況を見て落ち着き次第検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%		・コロナの為、状況を見て落ち着き次第検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	25%	75%		・コロナの為、状況を見て落ち着き次第検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	毎日の送迎やモニタリングなどで様子や状況を伝えている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	送迎時に実施している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	75%	25%	・契約時に必ず書面とともに説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	75%	25%	保護者から相談があった場合は、面談や送迎時などで対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		・コロナの為、状況を見て落ち着き次第検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	メール、LINE、電話で受付を行い、苦情等があった場合にはすぐに担当者に報告を行い迅速に対応できるようにしてい	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	75%	25%		・Instagramにて日々の活動や行事予定を発信していく予定です。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の管理、書庫の施錠を徹底している	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	75%	25%	職員が仲立ちに入る、筆談などの方法を用いて配慮を行っている。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%		・コロナの為、状況を見て落ち着き次第検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	50%	50%		・年2回の防災、避難訓練時などで職員間で周知をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	半年ごとに消防署に協力いただき消防避難訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	研修を定期的実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50%	50%		身体拘束が必要な児童がいない為、行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者からの情報提供のもと、行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	全職員が共有できるように作成している。	